

広報広聴会議

日 時 平成 29 年 12 月 22 日（金）午前 9 時 30 分～
場 所 第 3 委員会室

1 広聴部会活動

（１）議会報告会（10／26）に係る意見対応（委員会等の状況）及びアンケートについて

（２）わがまちトークに係る意見対応（委員会等の状況）及びアンケートについて

① 自治会版について（本梅町 10／23、畑野町 11／5）

② 各種団体版について（H29 成人式実行委員会 11／13）

2 その他

（１）今後の日程

○わがまちトーク（自治会版）の役割分担

日時：12月22日（金）本会議終了15分後

場所：全員協議会室

議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29. 10. 26 PM 8:00~PM 9:00)

会場(市民ホール)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	西別院町柚原の護岸の崩壊は災害の補助事業の対象とならないのか。	工業団地の水路の崩壊が原因であるので災害とはならない。	産業建設	○		
2	亀岡駅北土地区画整理事業で、平成28年度から平成29年度に事業を移行しているのはなぜか。また、補助事業の対象となるのか。	整備に向けた協議等が必要であり、亀岡駅北側排水路等の工事がおくれ、結果として駅前広場の工事がおくれたためである。平成28年度の補助金で精算しているので、今回の補正による補助金の支給はない。	産業建設	○		
3	上川関の道路について、南丹市との調整により八木町まで道路が接続されたが、市道が延伸したことになるのか。	以前あった踏切から斜めに出ていた道路が廃止となり、新たに八木町まで延伸した道路を市道認定した。	産業建設	○		
4	京都スタジアム(仮称)の土地の無償貸付期間を10年間としたことについて、議会としてはどのようなチェック方法を考えているのか。長期的なスパンとする場合は、目標を明示させ、定期的にチェックするのがよいのではないか。	特別委員会での議論を踏まえ、無償貸付期間を10年とする議案を提案された。10年が経過した時には、再度執行機関から提案されることとなり、10年の貸付期間とするか等を含め、議会としてしっかりとチェックしていく。	京都スタジアム(仮称)検討	○		
5	児童扶養手当の経費について、ひとり親家庭などの生活安定と自立の促進に寄与することだが、自立の促進に対する具体的な行為は何だと考えているのか。それぞれの家庭の諸事情があるので内容をもっと把握して活動につなげてもらいたい。		環境厚生	○		
6	未熟児養育医療助成経費の文言で、「正常時の出生児に有する機能を得るに至っていないもの」とあるが、表現が分かりにくい。	できるだけわかりやすい表現にしよう今後の課題とさせていただきます。	環境厚生	○		
			広報広聴	○		
7	追分から馬堀にかけての市道の新設工事が進められている。今後、亀岡から市立病院までコミュニティバスが運行する展開はあるのか。	北古世西川線は今年度3月末までに開通する予定である。コミュニティバスは篠町で試験運行しているが、今のところは不調である。執行機関には市道が開通すれば、亀岡駅から市立病院を含めつないで何年か様子を見るという意志を確認している。今後、京阪京都交通バスや別の方法なども含め検討していきたい。	公共交通対策	○		
8	議会中継を1階エントランスホールで放映しているが、パーテーションで区切るなど、一般来庁者との仕切りが必要ではないか。	貴重なご意見として検討していきたい。	議会運営	○		
9	関心のある質問を傍聴しに行くが、予定された質問が重なり飛ばされる時がある。その質問を傍聴しに来たにも関わらず、傍聴することができないことがある。切り口を変えて質問をするなどの工夫をしてもらいたい。	貴重なご意見として検討していきたい。	議会運営	○		
10	議場の傍聴席の出入り等に関して、安全対策は大丈夫かと以前から思っている。何かあった時に、瞬時の対応ができるような体制を考えてはどうか。	貴重なご意見として検討していきたい。	議会運営	○		

議会報告会（平成29年9月定例会） 参加者アンケート集計

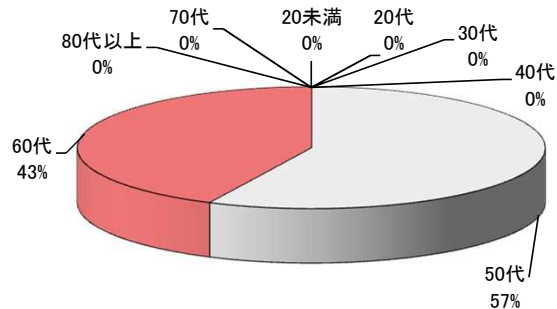
【平成29年10月26日（木）】

市民ホール

参加者 7 人 （アンケート回収数：7件 回収率100%）

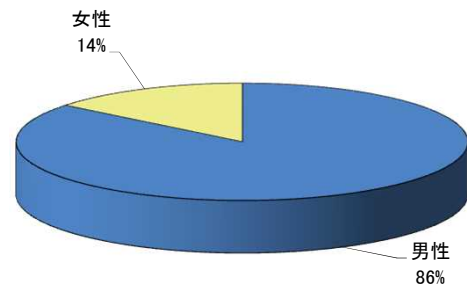
●回答者年齢別状況

	回答数	割合
20歳未満	0	0%
20歳代	0	0%
30歳代	0	0%
40歳代	0	0%
50歳代	4	57%
60歳代	3	43%
70歳代	0	0%
80歳以上	0	0%
合 計	7	100%



●回答者性別状況

	回答数	割合
男性	6	86%
女性	1	14%
合 計	7	100%

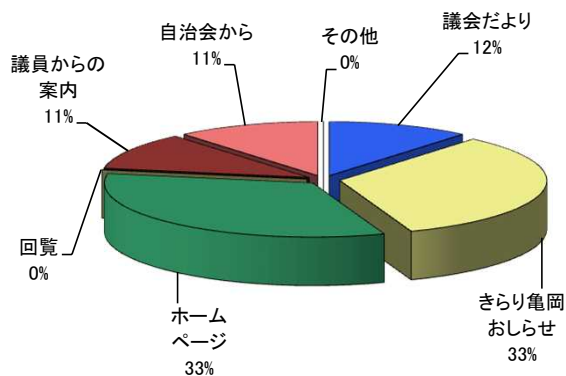


●どちらの町からお越しですか。

	回答数
亀岡地区	3
篠町	1
南つつじヶ丘	1
保津町	1
曾我部町	1
合 計	7

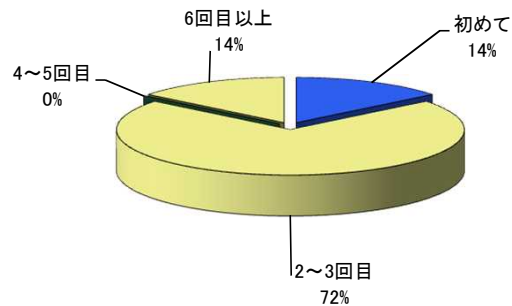
●本日の報告会の開催をどのようにしてお知りになりましたか。（複数回答可）

	回答数	割合
議会だより	1	12%
きらり亀岡おしらせ	3	33%
ホームページ	3	33%
回覧	0	0%
議員からの案内	1	11%
自治会から	1	11%
その他	0	0%
合 計	9	100%



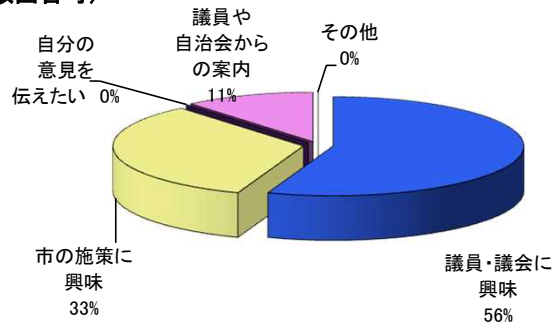
●報告会に参加されるのは何回目ですか

	回答数	割合
初めて	1	14%
2～3回目	5	72%
4～5回目	0	0%
6回目以上	1	14%
合 計	7	100%



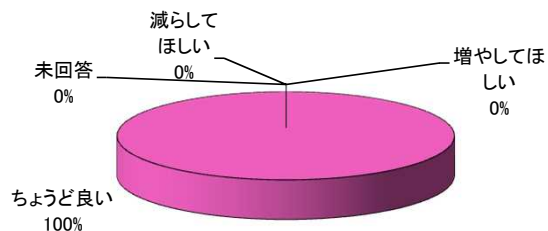
●報告会に参加された動機は何ですか。(複数回答可)

	回答数	割合
議員・議会に興味があった	5	56%
市の施策に興味があった	3	33%
議会に自分の意見を伝えたい	0	0%
議員や自治会から案内があった	1	11%
その他	0	0%
合 計	9	100%



●議会からの報告について説明時間はどうですか

	回答数	割合
増やしてほしい	0	0%
ちょうど良い	7	100%
減らしてほしい	0	0%
未回答	0	0%
合計	7	100%



●議会にどのようなことを期待しますか。

市民の代表として意見を言う。(古世町)

処置か対策を見極めて、予算化してほしい。(南つつじヶ丘)

●議会報告会に参加してのご感想、ご提案などありましたらお書きください。

参加者の意見をよく聞いてもらったのでよかった。(古世町)

大変有意義な機会であった。もう少し多くの市民の参加者があればと感じた。少し残念に思った。(曾我部町)

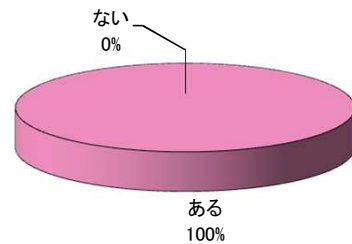
インフラに関して、新設と保全の両面で活動してほしい。特に、保全管理は重要で、管理のあり方に発生型の対応ではどうかと思う。(南つつじヶ丘)

◆ 議会だよりについて

●市議会だより（紙面全体について）

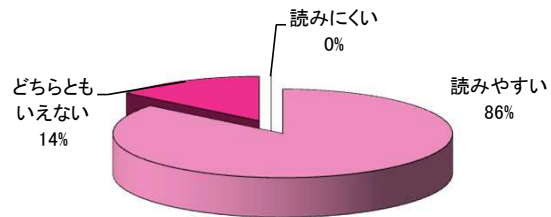
（１）市議会だよりを読んだことが

	回答数	割合
ある	7	100%
ない	0	0%
合計	7	100%



（２）読みやすさは

	回答数	割合
読みやすい	6	86%
どちらとも言えない	1	14%
読みにくい	0	0%
合計	7	100%

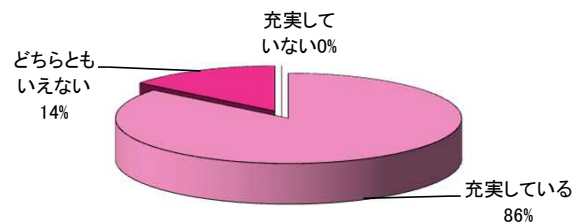


→その理由など

文字フォントが小さい。

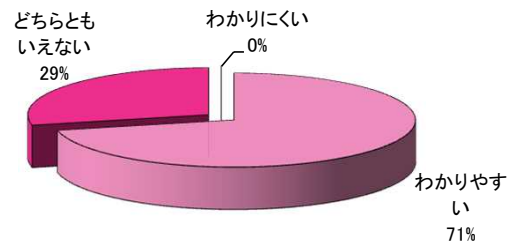
（３）内容の充実度は

	回答数	割合
充実している	6	86%
どちらとも言えない	1	14%
充実していない	0	0%
合計	7	100%



（４）記事の内容は

	回答数	割合
わかりやすい	5	71%
どちらとも言えない	2	29%
わかりにくい	0	0%
合計	7	100%

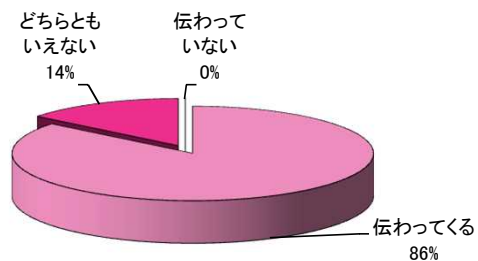


→その理由など

専門的用語が分かりづらい。

（５）議会の活動が

	回答数	割合
伝わってくる	6	86%
どちらとも言えない	1	14%
伝わっていない	0	0%
合計	7	100%



●市議会だよりに望むことはどのようなことですか。

簡潔であると読む気になる。(古世町)

●改善すべき点があれば、お書きください。

※無回答

●掲載してほしいコーナなどご提案があれば、お書きください。

各議員の思い等を掲載するコーナーを作ってはどうか。(保津町)

●その他、議会だよりに関して、ご意見などがあれば、お書きください。

※無回答

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.10.23 13:30～15:27)

会場(ほんめ町ふれあいセンター)

テーマ(当町のまちづくりについて・高齢者福祉対策について)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参 考	報 告	調 査
1	保育所の統廃合については、呼び方を工夫し「再編成」と位置付け、本梅保育所については特色ある保育所として運営してはどうか。本梅町に在住し、子育てしながら働く人たちの中には、他町で働く人がたくさんおられるが、送迎の都合で職場に近い保育所に子どもを預けられている現状がある。また、生徒数が減少する育親中学校では、部が消滅する等、部活動が制約されてきている現状がある。少子化が進む中、保育所、小学校、中学校までの運営をどのように考えているのか。	保育所や学校の統廃合については、地域としっかり話し合いながら検討し、他の事例もよく検証し議論していくことが大事である。公立保育所の運営のあり方自体も含め、今後も議会としてしっかり取組んでいきたいと考えている。亀岡では、従来から学校をコミュニティの拠点としたまちづくりが行われているのが特徴であり、このようなことを踏まえ、市に対して子どもたちや保護者、地域の声を十分聞くよう議会として意見を述べているところである。	総務文教	○		
			環境厚生	○		
2	農業について地域として頑張っているが、第2カントリーの閉鎖や農業従事者の高齢化が進むため、将来どうなるのが課題である。また、ほ場整備について本梅町全体で考えていかなければならない。	地域で得意な作物を作るなど特色を生かした運営をするのがよいのではないかと。若い人たちの意見を含めて考えていただきたい。また、国営ほ場整備事業に合わせて、農業法人化を目指し、カントリー建設も視野に入れ取組まれればよいのではないかと。	産業建設	○		
3	農作物の販路拡大や高値での販売が課題である。農協だけではなく、大阪方面や京都市内への新たな米の販路拡大の方策はないか。	法人であれば補助金の手厚くなるので、農業法人を立ち上げられてはどうか。米の販路についても、法人化すれば販売先も取扱うことを考えてくれるのではないかと。	産業建設	○		
4	台風等の災害の際に、高齢者が避難するのが難しい場合があるが、本梅町では福祉施設と協定を結び対応している事例もある。	高齢者の見守りについては、各地域での成功例等を共有して、本梅町でよりよいものにしていただければよいと考えている。	総務文教	○		
			環境厚生	○		
5	高齢者が免許証を返納しても、病院等へ行くための交通インフラが整備されていない状況がある。バス交通を充実したり、乗合タクシーの仕組みを構築することはできないのか。	高齢者の交通手段については、亀岡市内の各地域でも課題となっている。バス交通については、試験運行を実施しても利用者が増えていない実態もある。東別院町では、デマンド交通に取組まれているので、このことも含めて検討していきたい。	公共交通	○		
6	西部地域に消防署を設置することについて要望を出しているが、どうなっているのか。	議会においても従来から大事な内容として内容を共有し、様々な提案をしながら市へ要望してきた。2市1町の自治体で負担金を出し合い、京都中部広域消防組合を設置しており、亀岡市だけでなく広域のことであるので、単独で解決できない事情がある。今後も検討していきたい。	総務文教	○		

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.11.5 10:00~11:44)

会場(畑野町公民館)

テーマ(人口減少、少子高齢化で過疎化が進行する中にあるのまちづくりについて)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	畑野町に住んでいると買い物や通勤、医療など、さまざまなことにコストがかかる。少しでも負担が緩和できるように考えてほしい。	固定資産税、都市計画税、土地などが安価な部分もある。買い物については宅配の方法もある。	公共交通	○		
2	行政にもお願いをしているが、市の職員など、まちづくりと一緒に考えてくれる人を紹介してほしい。南丹市ではアドバイザー的な人を派遣している。		総務文教	○		
3	自由度が高く、制約のない補助金をつくってほしい。地元の思いで使えるような補助金を提案してほしい。		総務文教	○		
4	消防・救急医療体制が最も不安。隣接する能勢町には救急車があるにも関わらず、行政の境があるためこちらへ出動できない。広域的な視点で考えてほしい。規定によってできないのであれば、生活しやすいように規定を変えることを考えてほしい。他の地域では定住圏という県をまたぐ考え方もある。	・西部4町を含めて何らかの方法で拠点づくりが必要と考える。 ・市長、担当部の考え方を確認していきたい。	総務文教	○		
5	合併浄化槽については、取付けた後の補助を要望してきた。議会はそのことを把握しているのか。	設置だけでなく、その後の補助が必要ではないかということは9月定例会の決算審査で議論した。3月定例会の予算審査では議論がどのように反映されているのかをチェックしていきたい。	環境厚生	○		
6	高齢に伴い運転が心配だが、免許証を返納すると畑野町では生活ができない。特別な措置として、地域の人でタクシー代わりに活動できるような対策を講じてもらえるように考えてほしい。		公共交通	○		
7	環境美化条例では、畑野町は都市計画区域外になっているため対象外になっている。地権者に手紙を出しても、あて先不明で返送されてしまい、困り事が解決しない。市長が特に指定する地域に指定できれば強制力が出てくるのではないかと。空き家についても地権者が分からず困っている。	今後、空家等対策の推進に関する条例が制定されると、管理不全の空き家に対して改善命令することができる。所有者に対して管理責任を問えるよう検討されている。	環境厚生	○		
			産業建設	○		
8	環境美化条例では白地地域は対象外だが、空き家条例はどうか。登記簿から住所を調べて郵送しても所在不明で返ってくる。所有者不明の場合の対応はどうか。	聞いている話では市全域を対象とした条例であったと思う。対象外になることがあれば指摘していきたい。代執行も文言に入ると思う。	環境厚生	○		
			産業建設	○		
9	加舎の里カントリー付近の道路で死亡事故があった。その時にトンネルを掘ってほしいと要望した。費用はそれほどかからないと思う。		産業建設	○		
10	民生委員の負担が大きい。趣旨はボランティアかもしれないが、交通費などいろいろな経費がかかっている。市として見合う分の保障をしてほしい。畑野町は人口割で定数が6人だが、広いところに家が点在しており、高齢化も進んでいることを配慮して、定数を検討してほしい。		環境厚生		○	

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.11.13 19:00～20:10)

会場(亀岡市役所 8階 全員協議会室)

テーマ(住み続けたいまち 将来の亀岡像について)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	安定した職がないと住み続けるのは難しい。職業はいろいろあるが、自然の豊かさも残しつつ、経済の発展にもつながらる農業規模の拡大を提案したい。	亀岡市は兼業で水稻農業をしているところが多いが、農業で生計を立てようと思えば葉物栽培をしているところは所得が高いので、そこを目指せば農業規模の拡大に繋がるのではないかと思う。	産業建設	○		
2	農業で収益を上げようと思えば、加工品としての付加価値をつけることが解決策だと思う。それには費用がかかるので、市として何らかの支援をしてもらえれば新しい産業が発展するのではないかと思う。		産業建設		○	
3	市民の方々が気持ちよく過ごせる亀岡であり続けることが大切である。京都スタジアム(仮称)ができたり、観光資源ができることによって、他の地域から来られる方も多くなり、気持ちよく共存できるまちづくり、亀岡で楽しんでもらえるまちづくりができればと思う。また、休日に亀岡から出て遊びに行く人が多いが、家族や友人と休日に亀岡で過ごせるようなまちななればよいと思う。		産業建設		○	
			京都スタジアム(仮称)検討	○		
4	人口増加を目指すには、若者が住むことだと思う。そのために、自然と市街化のハイブリット化を目指した環境づくりが大事である。大きな商業施設を建てる必要はないと思うが、若者があればいいと思うようなものが亀岡に存在すれば、人口増加に繋がるのではないかと思う。		総務文教	○		
5	インスタ映えするカフェや家族で楽しめる施設があれば、他の地域からも訪れてもらえる人が増えると思う。亀岡で住み続けたいとなると、働く場所が必要になるので、カフェや施設を作ることで雇用の拡大にも繋がるのではないか。		産業建設		○	
6	田畑を埋め立て、新しい家を建てているにも関わらず人口が減少している。空き家が増加することに関しての対策が必要だと感じている。亀岡市でも移住お試し体験をしているが、駅やスーパーに近い空き家を利用して若者を対象にするような取組みができればと思う。		総務文教	○		
			産業建設	○		
7	亀岡市は都市化か田舎のままか、どちらを目指していくのか。	都会と田舎のいいところをとったトカイナカを目指していきたい。	総務文教	○		
8	亀岡市は京都市からは近いが、電車の本数がJR亀岡駅は多いが、JR千代川駅は少ない。	亀岡市内には4駅あり、まずは中心の亀岡駅を考えないといけない。亀岡市は京都市から近いということを議員もしっかり啓発をしていきたい。実行委員会の皆さんからもアピールしてもらえれば、人口も増えて千代川駅も本数が増えるのではないか。	産業建設	○		
9	働こうとすると子供を預けられる場が必要になる。また、0歳児保育などの充実には人が必要になる。このような問題に対応するためには、保育士の給与を増加させ就業率を高めることが大事であり、ひいてはUターンに対する施策になるのではないかと思う。	保育所に預けている子どもが病気になった場合でも、安心して預けられるところを亀岡市全域で増やしていくことが大事である。保育士の賃金が低いことが問題になっているので、行政も支援し、働く環境を整えていくことも大事である。	環境厚生	○		

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.11.13 19:00～20:10)

会場(亀岡市役所 8階 全員協議会室)

テーマ(住み続けたいまち 将来の亀岡像について)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
10	亀岡の企業も大企業と同じように広告等を活用し、情報発信をしてほしい。亀岡の企業を集めた企業説明会などがあると企業に触れる機会が増えると思う。	情報発信不足であったと思う。今後はもう少しPRしていくように働きかけていきたい。	産業建設		○	
11	就職するにあたって成長志向的にも自分を評価してくれる企業があれば都会に出ていくこともある。また、大卒が当たり前という中で、正直地元で就職するより大きな企業にチャレンジしたい。		産業建設	○		
12	京都スタジアム(仮称)ができることで電車が混み、車が通行しにくくなるなど自分たちの生活がしづらくなることが考えられる。住んでいる自分たちの住みやすさを維持してほしい。	京都スタジアム(仮称)ができることで、電車や道路が混むということは魅力があるということ。捉え方の違いで、課題が出てきたときにより良いものに改善していくという考えのもと、まちづくりをしていきたい。	京都スタジアム(仮称)検討	○		
13	観光や自然で人を呼び寄せることも大事だが、市街化においても限界に来ていないし、人を増やすことができると思う。例えば、スタバが1つできるだけでも印象が変わってくる。ちょっとした取組みが大事ではないか。	努力はしている。商業施設も誘致をしているが、都市計画変更をしていくなどの課題がある。	産業建設	○		
14	SNSにあげるために行動する学生が多いので、食フェス、例えば肉フェスなどをすれば若者を集めるのに効果的だと思う。自然を生かすというのもよいと思うので、自然の中で緑があつて、青空があつて、その背景のもとで撮る写真が映えるような施設ができれば、若者が集うのでは。	亀岡市でも肉フェスを行った。多くの人が集まったが、若い方に発信できていなかったことはこれからの課題である。	産業建設		○	
15	トロッコ列車と保津川下りの周りに何も無いというのがもったいないので、みんなが興味を持ってくれるようなものがあればと思う。		産業建設	○		
16	自然を生かすことに着目して、収穫体験、流しそうめん、おもちのピザを焼くなど、体験を通して人を呼ぶことができるのではないかと。また、若者の視点から、パラグライダーは魅力的である。		産業建設		○	
17	SNS、ネットを活用することが若者増加に必要なことであると思う。現地の様子をSNSに投稿したらプレゼントがもらえる特典や、体験型プログラムをSNSで拡散させることも大事だと思う。		産業建設		○	

わがまちトーク（自治会版） 参加者アンケート集計

【平成29年10月23日（月）】

ほんめ町ふれあいセンター 参加者 16 人 （アンケート回収数： 16 件）

【平成29年11月5日（日）】

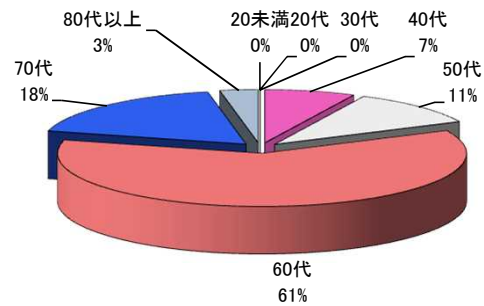
畑野町公民館 参加者 17 人 （アンケート回収数： 15 件）

合計33人（アンケート回収数：31件 回収率93.9%）

●回答者年齢別状況

	回答数	割合
20歳未満	0	0%
20歳代	0	0%
30歳代	0	0%
40歳代	2	7%
50歳代	3	11%
60歳代	17	61%
70歳代	5	18%
80歳以上	1	3%
合 計	28	100%

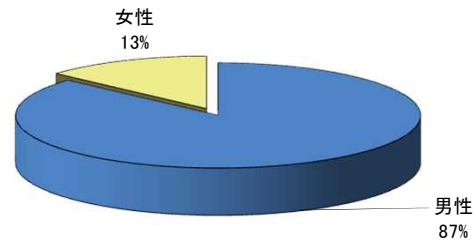
※3名については無回答



●回答者性別状況

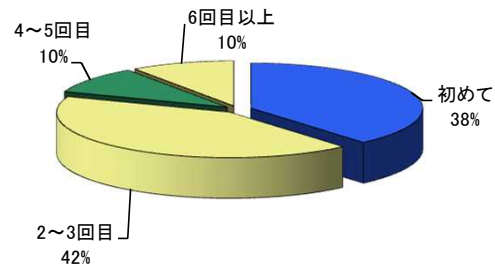
	回答数	割合
男性	26	87%
女性	4	13%
合 計	30	100%

※1名については無回答



●議会が主催する議会報告会やわがまちトークに参加されるのは何回目ですか。

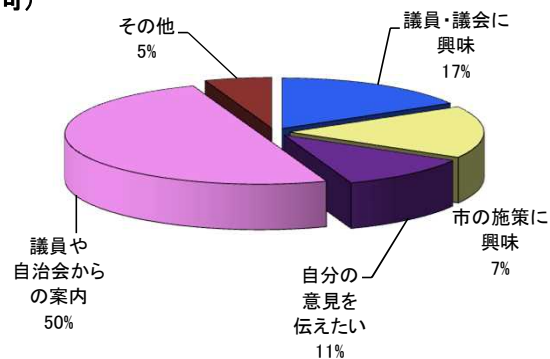
	回答数	割合
初めて	12	38%
2～3回目	13	42%
4～5回目	3	10%
6回目以上	3	10%
合 計	31	100%



●本日参加された動機は何ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
議員・議会に興味があった	6	17%
市の施策に興味があった	6	17%
議会に自分の意見を伝えたい	4	11%
議員や自治会から案内があった	18	50%
その他	2	5%
合 計	36	100%

（「その他」の内容）
自治会からの要請。（本梅町）
自治会役員のため。（本梅町）



●市政の課題で今、最も関心のあるテーマは何ですか。

農業について。(本梅町5件)
教育問題について。(本梅町)
高齢者福祉について。(本梅町5件)
少子高齢化問題の対応、農業問題について。(本梅町)
町の活性化、高齢化について。(本梅町)
スタジアムの建設、周辺の環境問題について。(本梅町2件)
子育てについて。(本梅町)
有害鳥獣対策について。(本梅町)
当町の取組み実現に向けて。(本梅町)
小中学校の将来像について。(畑野町)
地域の空家対策について。(畑野町)
人口減少、高齢者対策について。(畑野町)
高齢化、農業従事者の高齢化、将来について。(畑野町)
地域の交通・活性化について今後の対策。(畑野町)
地域の環境改善について。(畑野町)
少子高齢化対策について。(畑野町)
市行政について。(畑野町)
まちづくりについて。(畑野町)

●参加者との意見交換の際、意見が出しやすい方法を検討しています。何かご提案があればお書きください。

身近な問題から意見を聞いていく。(本梅町)
今のままでよい。(本梅町)
小グループで話し合いをする。(本梅町)
身近な課題を取りあげる。(本梅町)
今回の方式でよい。(畑野町)
あらかじめ、地域の課題を理解した上で議論を進める。(畑野町)

●議会にどのようなことを期待しますか。

活性化した議論をしてほしい。(本梅町)
地域密着型。(本梅町)
各年代のささやかな意見、各町の課題の把握をより積極的に行ってほしい。(本梅町)
このような機会を増やしてほしい。(本梅町)
周辺部のさまざまな課題に目を向けてほしい。(本梅町)
地域の声を反映してほしい。(本梅町)
各税金の値下げをしてほしい。(本梅町)
問題解決、行政推進を迅速にしてほしい。(畑野町)
身近な存在になってほしい。(畑野町)
議会活動をもっと活発にしてほしい。(畑野町)

●本日参加してのご感想、ご提案などありましたらお書きください。

参加してよかった。アドバイスもしてほしい。(本梅町)

心から感謝している。(本梅町)

熱意が伝わった。(本梅町)

議員の個々の思い入れが強く、話が長引くと論点がぼやけてくる。(本梅町)

今後も継続して開催してほしい。(本梅町)

住みやすいまちの実現に向けた市議会の対応を期待している。(本梅町)

問題解決、行政推進を迅速にしてほしい。(畑野町)

このような機会を年3回に増やしてほしい。(畑野町)

地域に対する感想が聞けてよかった。(畑野町)

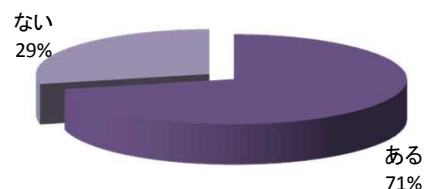
◆ 議会だよりについて

●誌面全体について

(1) 市議会だよりを読んだことが

	回答数	割合
ある	20	71%
ない	8	29%
合計	28	100%

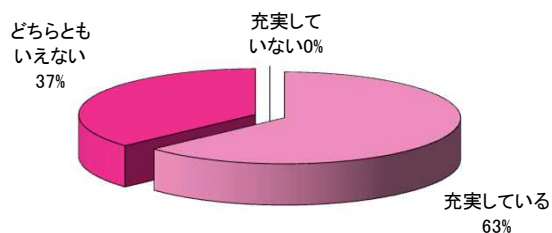
※3名については無回答



(2) 内容の充実度は

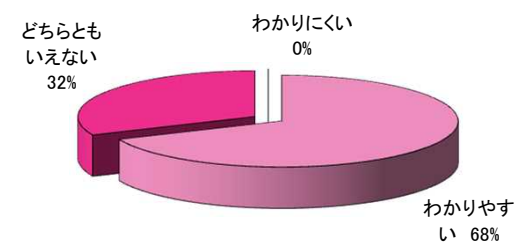
	回答数	割合
充実している	12	63%
どちらとも言えない	7	37%
充実していない	0	0%
合計	19	100%

※12名については無回答



(3) 記事の内容は

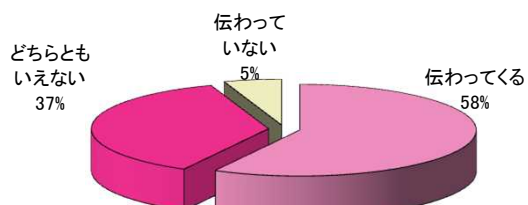
	回答数	割合
わかりやすい	13	68%
どちらとも言えない	6	32%
わかりにくい	0	0%
合計	19	100%



(4) 議会の活動が

	回答数	割合
伝わってくる	11	58%
どちらとも言えない	7	37%
伝わっていない	1	5%
合計	19	100%

※12名については無回答



●市議会だよりに望むことはどのようなことですか。

前向きに進んでほしい。(本梅町)

今後も継続してほしい。(本梅町)

わかりやすい内容にしてほしい。(本梅町)

今のままでよい。(本梅町)

的確な議論を望む。(畑野町)

●改善すべき点があれば、お書きください。

さらに充実をしてほしい。(本梅町)

議決の結果が掲載されているが、賛否の理由を載せてほしい。(畑野町)

安全について。(畑野町)

●掲載してほしいコーナなどご提案があれば、お書きください。

※無回答

●その他、議会だよりに関して、ご意見などがあれば、お書きください。

トンネルの建設。(畑野町)

国道372号に向けた新道路の建設。(畑野町)

わがまちトーク（平成２９年亀岡市成人式実行委員会との意見交換会）

【平成２９年１１月１３日（月）】

亀岡市役所 ８階 全員協議会室

参加者 ５ 人

●参加者の感想

- ・ SNSでの拡散は非常に重要なものとなっている。フェイスブックは40～60代から支持されているが、私たちの世代が主に使うのは10～20代に支持されているInstagramであり、これがギャップを生み出している。亀岡にはアクティビティで魅力的なものが多いと思う。それを広報する方法として、アクティビティを紹介している「asoview」などの企業に対して亀岡市が支援をすればよいと思う。
- ・ 本日は充実した、また、楽しい時間であった。自分の勉強不足で拙い意見しか出せなかったことが大変悔やまれるが、他の実行委員の意見も聞くことができたので、良い刺激となった。
- ・ 普段、議員と話をする機会がないので、亀岡の政策やこれからのまちづくりについて聞くことができてとても勉強になった。20年間暮らしてきた亀岡の未来について考えることができて良かった。今後も、若者や子どもたちとも意見交換ができる今回のような場を増やしてほしいと思う。友達にもっと亀岡の良さを知ってもらえるように努力したいと思った。
- ・ 亀岡は、山に囲まれた土地で世間のイメージも田舎の一点張りになってしまっている。私は、田舎のイメージを都会のイメージに変える必要は全くないと思っている。しかし、まだ市街化の限界が来ていないことも事実だと思う。自然を残して発展させるということは非常に難しいことである。しかし、京都市の隣に位置していることはどの市にもない大きな特徴である。それを念頭において考えれば、新しいことが生まれるのではないかと思う。
- ・ 話を聞く中で、こんなことがあればいいなということも自分が知らないだけで、実際に行われていたという内容が多かったので、もう少し亀岡について知る姿勢が必要だと思った。それと同時に、亀岡市民である私たちですら知らないイベントは、他の地域の人々は知らないだろうと感じた。力を入れてもらっていることはよくわかったので、広報の方法を考えることがまず必要であると思った。